
令和 6 年 度
事業 報 告 書

社 会 福 祉 法 人 育 美 会
花 の 人 の 家

令和6年度事業報告

総評

入居者数は年間を通して満床を維持できた。入居者の健康管理に関しては感染症も出たが、きちんと対応できたことで大きな感染拡大には至らなかった。今後も各セッション間の情報共有をさらに進めていき、迅速に問題に対応できるチーム作りを行っていく。

今年度の大きな取り組みである大規模修繕は無事に完了する事ができた。建物の壁はきれいになり、ホールのトイレも一新され、入居者の満足度も上がり、施設全体のグレードが上がった。

7年度はこの修繕を大いにアピールしてさらなる集客につなげていく。

研修は人材が不足していた為に充分に参加する事が出来なかったが、飯能の軽費老人ホームへの見学などを行なった。来年度に向けてさらに充実した研修を行えるように計画していく。

育美会3施設の交流は11月に文化祭という形で実現することができた。

今後、文化祭については継続的にを行い、法人の文化的なイベントにしていく。

収支についてはここ数年の物価上昇により備品や水道光熱費、材料費が高騰し経費を圧迫している。

経費そのものを抑えることはもちろんだが、常に運営を見直し全体的なコストを抑える努力を行なっていく。

1. 接遇基本方針

大きなトラブルもなく過ごしていただけた。販売する日用品の見直しを行った。

移動スーパーに定期的に来園してもらい、嗜好品などの購入をしてもらう機会を提供した。

大規模修繕により洗濯干し場がきれいになり、気持ちよい環境で洗濯が行えるようになった。

2. 地域との連携

中学生の社会体験事業を受け入れた。また地域の津軽三味線の慰問やピアノの演奏などを受け入れた。

これからも地域との連携の強化は積極的に行っていく。

3. 医療機関との関わり

訪問診療が入居者にとって継続した体調の維持と安心感を与えている。また、コロナ感染時に近隣の医療機関との連携が出来たことにより施設負担を減らすことが出来た。今後も感染症対応については正確な情報を把握しながらマニュアルを更新し、柔軟に対応できるように整えていく。

また、医療と施設の連携強化が進められている。再度必要な措置を取り、協力病院との関係強化を行っていくことが来年度の課題となる。

4.生活

(1) 食事について

安心、安全な食事を提供することが出来た。行事食も提供し、外出が少ない入居者へ季節感を感じる食事を提供できた。材料費高騰に対応すべく人員配置を工夫ながら取り組み、喜ばれる食事を提供していく。

(2) クラブ活動

クラブ活動教室の増室を目標にしていたが達成できなかった。来年度は有料の教室も含め、さらに増やす事を目標にして入居者の生活の充実につなげたい。また施設主催のクラブ活動なども模索していく。

5.行事計画

随時行うことが出来た。入居者にも喜んで頂けた。ホームページに掲載し施設活動をアピールした。

6.会議・委員会

いずれも適宜行うことが出来た。議事録を取り、施設運営に役立てていく。

7.設備修繕・改修・保守

建物の外壁補修、塗装工事を行なった。1階ホール男子・女子トイレの改修工事を行なった。

法令遵守的に問題のあるものに関しては補修を行った。その他安全環境の保持に必要なものに関して補修を行った。

7.入居者確保

川越市だけでなく近隣の機関からも問い合わせを頂いている。引き続き関係を強化するために受けた案件には前向きに対応していく。また事実調査などはスピード感を上げるため、病院や施設に伺い迅速に入居へ繋げる事が出来ている。

さらに加速させられるようにZOOMなどを利用した面談などにも対応できるようにしていきたい。

入居に関しては年間を通して2, 3名の待機者を持つことが出来ているが、年間の入退去も多くなっているので一時的に足りなくなる場面もあった。今後はさらに増やすべく施策を施していく。

令和2年度より開設したインスタグラムはフォロワー1,450件を超え、認知度向上に貢献している。

今後もSNSは積極的に活用し、施設の認知度を上げるだけでなく、入居や人材の募集などのアピールにも活用していく。